

将来の日本はどうなっているの？

どんなことが社会問題になるの？



これから日本は、人口減少、少子高齢化、エネルギー・環境問題など様々な社会課題に直面するとされています。例えば、2036年には3人に1人が高齢者になり、社会に影響を与えることが予測されるほか、少子化による労働力不足も懸念されています。また、日常生活のいろいろな場面でテクノロジーが普及していきますが、一方でサイバーセキュリティの脅威や災害時などのエネルギーや通信のバックアップの重要性がより増していきます。これらの課題を解決しながら、持続的に発展していくことが必要になります。

解決していくにはどうしたらいいの？



“イノベーション”と呼ばれる先進的な技術や画期的なアイデアが解決の鍵を握っています。例えば、AI(人工知能)やロボットによる自動化によって、人間が運転していた車が自動運転車になったり、画質や音質が飛躍的に進歩した通信によって、遠隔診療が可能になったりすることが挙げられます。

Fukuoka Smart Eastで未来に誇れるまちづくりを。

新しい技術や画期的なアイデアによって、様々な社会課題を解決していく先進的なまちづくりにチャレンジするFukuoka Smart Eastの取組みが始まっています。

× 突然の停電

電気自動車やAI(人工知能)家電、スマホなどが普及すると生活はとても便利になります。しかし、電気が停まってしまうと移動や買い物、防犯など、暮らしのあらゆる場面に影響します。

× 突然のけが・急病

一人暮らしの高齢者が増加しています。そういった高齢者は急な体調の変化やけがの際、誰にも助けられず、最悪の場合、死に至ることもあります。

× 多発する交通渋滞

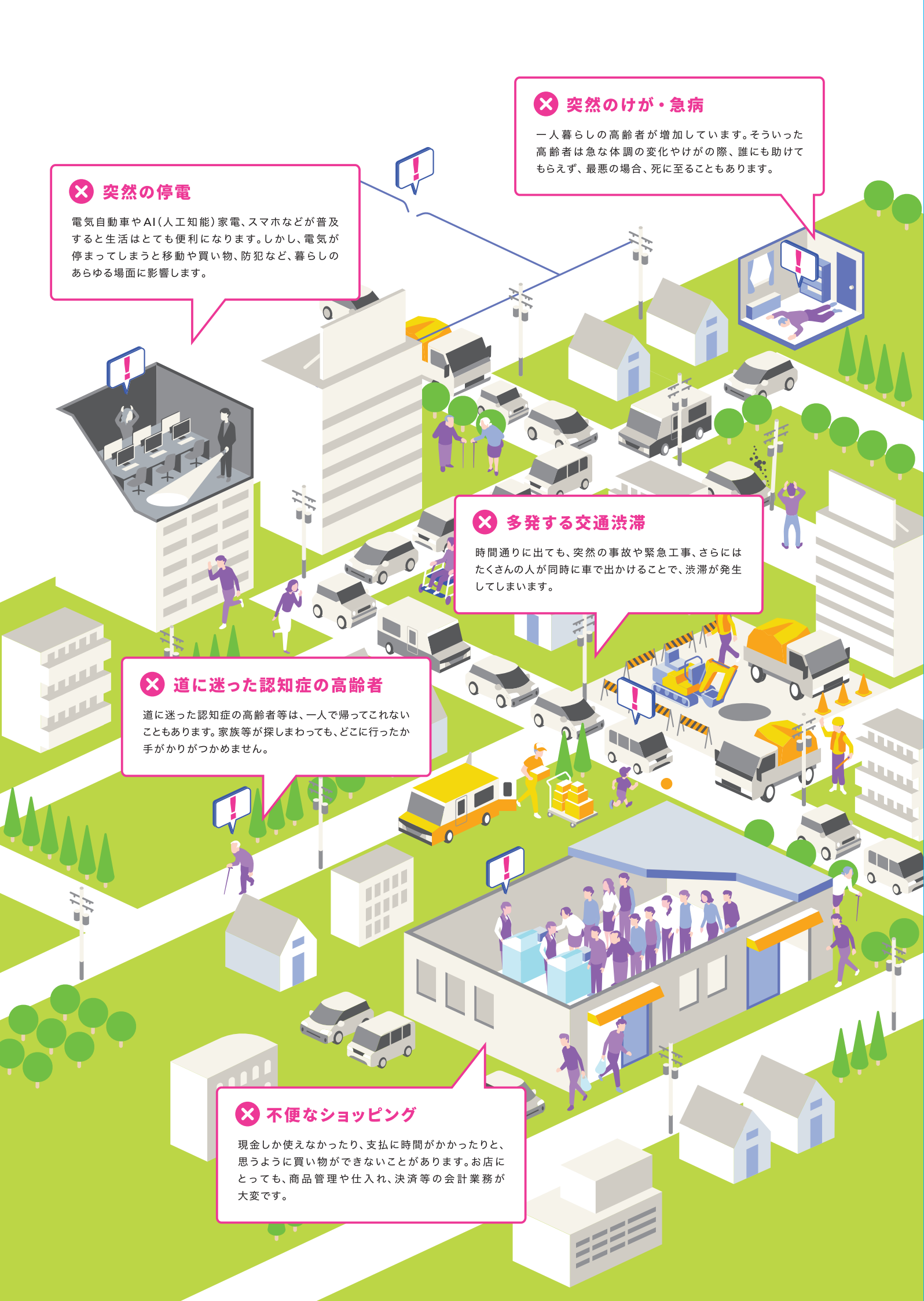
時間通りに出ても、突然の事故や緊急工事、さらにはたくさんの人が同時に車で出かけることで、渋滞が発生してしまいます。

× 道に迷った認知症の高齢者

道に迷った認知症の高齢者等は、一人で帰ってこれないこともあります。家族等が探しまわっても、どこに行ったか手がかりがつかめません。

× 不便なショッピング

現金しか使えなかったり、支払に時間がかかったりと、思うように買い物ができないことがあります。お店にとっても、商品管理や仕入れ、決済等の会計業務が大変です。



✓ 自家用車は共有する時代に

自家用車は、地域住民でシェアリング(共有)する時代になります。そうすると、都会での駐車場不足が解消されるだけでなく、車を購入する必要がなくなります。

✓ 自動運転車で効率的な移動

自動運転車が信号や道路の混雑を判断。最適なルートを行き、安心して快適な運転を提供します。また、自動運転のコミュニティバスが高齢者の移動をサポートし、誰でも気軽に外出できるようになります。

✓ 気軽にエクササイズ

自宅や公園など好きな場所で、スマホやスマートウォッチを使って気軽に健康づくりに取り組むことができます。自分用にパーソナライズされたメニューが提供されます。

✓ 見守りシステムで安心

道に迷った高齢者や子どもを、街中のセンサーが見守ってくれます。不審者や事故からも守ってくれるのでみんなが安心して暮らすことができます。

✓ 様々な場所がオフィスに

次世代の通信技術により、リモートワークなどライフスタイルに応じた様々な働き方が可能になります。

✓ スムーズなショッピング

店内のセンサーが買い物客や商品を認識するので、レジを通さず買い物できます。お店にとっても、注文受付や決済がスムーズになり、データに基づく仕入管理ができるようになるので、在庫や廃棄品も削減できます。

✓ 水素エネルギーの活用

水素エネルギーを使うと、電気を大量に長期間貯めることができます。また、水素で動く燃料電池自動車は、水しか排出しないので、環境に優しい乗り物です。

✓ ドローンが荷物をお届け

スマホから配達先を入力すると、ドローンが荷物を届けてくれます。外出先にも届けてもらうことができるので、配達時間を気にせず自由にお出かけすることが可能になります。

✓ 災害時は安心スペースに

普段は様々なイベントが開催されて賑わうオープンスペース。太陽光・水素発電や蓄電池を備え、災害時や非常時には住民や来街者に安心をもたらす空間として活用できます。

✓ AI家電で便利に

例えば、AI(人工知能)冷蔵庫が消費期限のせまった食品を通知。“もったいない”を減らすことができます。

みんなの未来予想図

イノベーションによって、誰もが安心して暮らせる未来が思い描けたでしょうか? 高齢者の大幅な増加と、働く世代の減少といった「人口構造」の変化など、様々な社会の変化を、テクノロジーによって補ったり、手助けしてもらったりしながら“人とテクノロジーが共存”するまちが完成しました。イノベーションにより生活が便利になった結果、時間的な余裕が生まれ、自分らしく幸せに暮らすことができるようになります。

Fukuoka Smart East とは

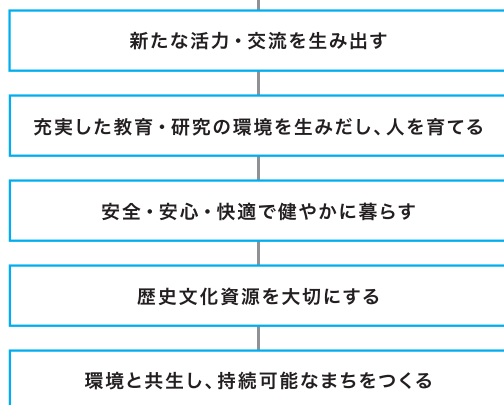
少子高齢化など、まちづくりの様々な課題を解決しながら持続的に発展していくため、最先端の技術革新の導入などによる、快適で質の高いライフスタイルと都市空間を創出し、未来に誇れるモデル都市を創造していくものです。まずはその先駆けとして、箱崎のまちづくりにおいて進めます。

箱崎での取組み

箱崎のまちづくりの方針

九州大学が存在した地としてのブランドと、広大な敷地や交通といった強みを活かし、イノベーションを生み出す新たな拠点を創出します。また、箱崎の歴史・文化も踏まえながらイノベーションを生み出すチャレンジできるまちと、高質で快適なライフスタイルや都市空間づくりに取り組み、未来に誇れるまちを創造します。

まちづくりの方針



広大な土地と良好な立地

箱崎地区は約50haという、天神から博多駅までと同じくらいの、とても広大な場所です。さらに、天神や博多駅などの都心にもほど近く、約4km圏内には福岡の主要交通機関である博多駅と博多港、福岡空港があります。付近には西鉄、地下鉄、JRの3つの鉄道も走っており、アクセス環境の整った、とても便利な場所でもあります。



企画・制作

Fukuoka Smart East 推進コンソーシアム

福岡市中央区天神1-10-1 6F
(福岡地域戦略推進協議会内)

TEL : 092-733-5682 FAX : 092-733-5680
E-MAIL : smart@city.fukuoka.lg.jp

詳細はWebサイトへ

<https://smarcity.fukuoka.jp>

